

**01** ネット時代の成功例に学べ!

**機種変更後のスマートフォンを疑似体験**

▶ スマートフォンをiPhoneからAndroidへ機種変更したいが、OSやボタンの配置が変わって使い勝手が悪くなるのではと二の足を踏んでいるユーザーは少なくないだろう。

そこで、Androidスマホを製造するメーカーが、iPhoneで同社のスマホの操作を体験できる専用ウェブサイトをつくった。

iPhoneに標準装備されているブラウザアプリでそのサイトを開くと、画面にAndroidのアイコンが並び、ユーザーはAndroidスマホを手に入れているような感覚になる。

メッセージや電話のアプリでは、ダミーの書き込みや通話があって、利用を疑似体験できる。カメラは使えないが、そのアイコンをタップするとAIによる最適な設定、ハンドサインでシャッターを切れることなどが動画で説明される。ワイヤレスイヤホンやスマートウォッチと連携するアプリのアイコンをタップすると、その製品の紹介文が表示される。

全ての機能やアプリが使えるわけではなく、同じAndroidでも他社のスマホは使い勝手が異なる場合もある。しかし、これで機種変更前に試せると、SNSを中心に話題を呼び、234の国と地域で550万人のiPhoneユーザーが利用した。

**02** 繁栄企業の成功要因を探る

**ネットでも街頭でも見つけるともらえるキャンペーン**

▶ スペインでフライドチキンチェーンが、同社のレシピの再現を試みる動画のURLを専用サイトにアップロードすると、オリジナルチキン2つと交換できるクーポンをプレゼントするキャンペーンを行った。

動画サイトに同社のフライドチキンを再現する動画が多数アップロードされている。しかし、料理研究家でも創業以来秘伝のレシピを真似することは至難の業で、すべて失敗に終わっている。応募者はこれらの動画を検索することで、同社の誰にも真似できない美味しさを改めて知ることになり、動画投稿者にとっては多くの人々に動画を見てもらえる機会になった。

▶ ヨーロッパで食料品の宅配サービスを展開する会社がイタリアで、認知度を高めるために割引プロモーションを実施した。

同社の自転車配達員が商品を入れて背負うバックパックに、毎日日替わりの合言葉を掲示。その写真を同社のアプリを通じてアップロードすると、最大で9割引になる。

走行中の自転車を、しかも文字が見えるように写真に収めるのは難しかったが、同社のアプリのダウンロードは3000件を超え、注文数は20%増加した。



**Check!** 進化するプロモーション手法に必要な基礎知識  
**要チェック!**

**マーケティングやプロモーションに使えるSNS最新機能《Instagram編》**

人々の生活の一部となり、企業活動にも欠かせなくなったSNS。その機能は日々アップデートされている。その中から今回は、販促やマーケティングに使えるInstagramの機能を紹介する。

**ストーリーズ**

Instagramで通常の投稿ができるところをフィードと呼ぶ。そのフィードの上に、フォローしているアカウントの丸型のプロフィール画像が並んで表示されるところがストーリーズだ。

ストーリーズは、画像や動画を投稿できる点ではフィードと同じだが、画像や動画がスライドショーのように切り替わり、24時間で自動的に消去される。そのため、リアルタイムで遊び心のある、楽しいコンテンツが投稿される傾向にある。

フィードでは画像が正方形で表示されるが、ストーリーズはフルスクリーン表示なので、細かい点まで見せることができる。また、画像の上に文字を入れることや、質問やアンケートの受け付け、2枚以上の画像を並べて表示することも可能だ。さらに、フィードの投稿ではできないリンクの添付もできる。

**インスタライブ**

ストーリーズではライブの動画配信もできる。コメントや質問ができて、双方向の動画配信も実現可能だ。画面を分割させて他のユーザーと一緒にライブ配信もできる。

**リール**

最大60秒までの動画を作成・共有できる機能。複数の動画をつないだり、BGMやARエフェクトをつけたりと簡単な動画編集もできる。

投稿したリールは「発見タブ」で、フォロワーでないアカウントにも表示されるので、新しい顧客層の開拓にも使える。

**地図検索機能**

連携しているFacebookで店の位置情報と、カフェ、レストラン、美容院、パン屋などのカテゴリを登録すると、Instagramでユーザーが地図検索をした際に店に関する投稿を表示させることができる。

**ショッピング機能**

商品画像につけたタグと商品購入ページをリンクできる。商品購入ページのあるサイトのドメインをアカウントの会社が所有し、そのサイトから直接購入できる商品のリストが掲載されている必要がある。

Instagramの他にTwitterやTikTokなどでも、つながる機能が増えている。

[次号に続く](#)

※本記事内の情報は2022年3月現在のものです。